

社会資本総合整備計画書

歴史と文化を活かした「二本松城跡周辺地区」整備計画
(二本松城跡周辺地区)

福島県 二本松市
平成29年12月

(参考様式2) 社会資本総合整備計画

平成29年12月12日

計画の名称	歴史と文化を活かした「二本松城跡周辺地区」整備計画										重点配分対象の該当	○					
計画の期間	平成30年度～平成34年度(5年間)					交付対象	福島県二本松市										
計画の目標	<p>【大目標】二本松の歴史・文化・魅力を伝える新たな交流拠点の整備と観光振興による地域の活性化</p> <p>【小目標①】観光交流拠点の整備による利便性と景観性の向上および賑わいの創出</p> <p>【小目標②】歴史文化の伝承と体験による認知度の向上と市民の誇りの醸成</p>																
計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 霞ヶ城の年間入込客数を、約43万人(H27)から約52万人(H34)に増加 代表的な観光施設「二本松城」と代表的な祭り「二本松の菊人形」について、県外居住者の認知度を22.2%(H28)から32.2%(H34)に増加 城跡周辺の来訪者の平均滞在時間を、51分(H29)から80分(H34)に増加 																
定量的指標の定義及び算定式											定量的指標の現況値及び目標値		備考				
											当初現況値	中間目標値	最終目標値				
											(H27) 434,721人/年		(H34) 525,000人/年				
	県資料「福島県観光客入込状況」により、霞ヶ城の入込客数を把握する。 【目標値：ピーク時と同程度】										(H28) 22.2%		(H34) 32.2%				
	県外居住者へのwebアンケート調査により、「二本松城」と「二本松の菊人形」の認知度を計測する。 【目標値：10%向上】										(H29) 51分		(H34) 80分				
	来訪者への調査により、二本松城跡での平均滞在時間を把握する。 【目標値：一人あたり平均30分増加】																
全体事業費	合計 (A+B+C+D)		1,936百万円	A	1,936百万円	B		C		D	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	-					
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H30	H31	H32	H33	H34				
1-A-1	都市再生	一般	二本松市	直接	二本松市	二本松城跡周辺地区	観光交流センター、広場、ポケットパーク、案内板、コミュニティバス社会実験等	二本松市						1,936	-		
									合計								
B 関連社会資本整備事業(該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H30	H31	H32	H33	H34				
									合計								
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H30	H31	H32	H33	H34				
									合計								
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H30	H31	H32	H33	H34				
									合計								
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					

交付金の執行状況

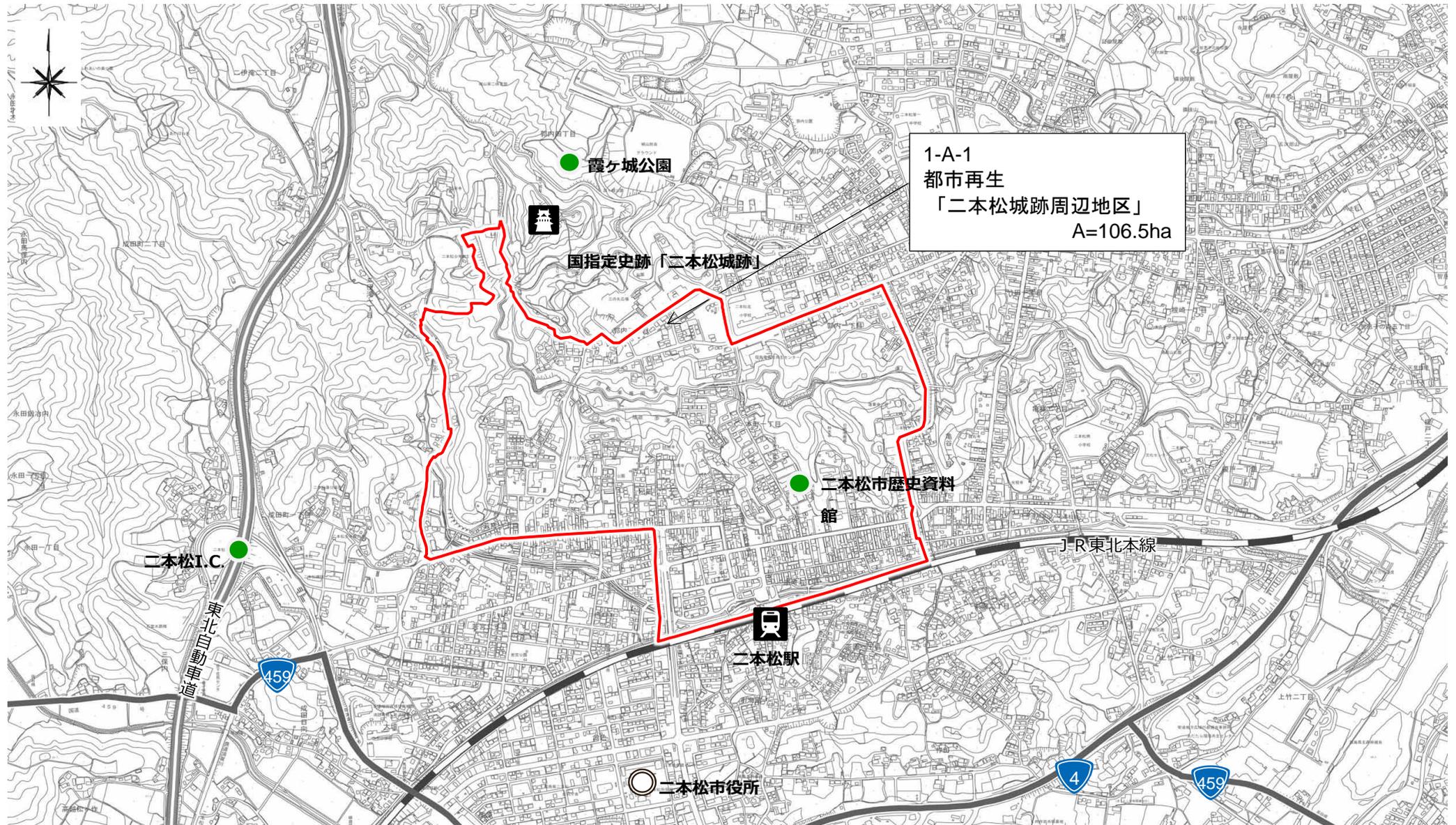
(単位:百万円)

	H30	H31	H32	H33	H34
配分額 (a)					
計画別流用 増△減額 (b)					
交付額 (c=a+b)					
前年度からの繰越額 (d)					
支払済額 (e)					
翌年度繰越額 (f)					
うち未契約繰越額 (g)					
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	#DIV/0!	#DIV/0!			
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	-	用地買収の交渉において発生した相続問題により、用地取得が遅延したため			

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	歴史と文化を活かした「二本松城跡周辺地区」整備計画		
計画の期間	平成30年度 ~ 平成34年度 (5年間)	交付対象	二本松市



1-A-1
都市再生
「二本松城跡周辺地区」
A=106.5ha

200 0 200 400 600 800m

社会資本整備総合交付金チェックシート

(都市再生整備計画事業等タイプ)

計画の名称: 歴史と文化を活かした「二本松城跡周辺地区」整備計画 事業主体名: 福島県二本松市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	<input type="radio"/>
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	<input type="radio"/>
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	<input type="radio"/>
5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	<input type="radio"/>
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	<input type="radio"/>
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1) まちづくりに向けた機運がある。	<input type="radio"/>
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	<input type="radio"/>
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	<input type="radio"/>
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	<input type="radio"/>
2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	<input type="radio"/>
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	<input type="radio"/>